

NEWS交差点

レジ袋や飲料用ペットボトル、さらにはストローまで、使い捨てプラスチック製品の使用をやめようとの動きが世界各地で広がっている。これからのプラスチックがごみとなり深刻な海洋汚染を引き起こしているから。日本国内でも「脱使い捨てプラスチック」を求める声が出始めたが、先のカナダの先進7カ国首脳会議(G7サミット)でも、米国と並んで日本も海のプラスチックごみを減らす数値目標を盛り込んだ文書に署名しないなど、政府の取り組みは鈍い。国内外の動きを探った。

「後の時代の人は、われわれが、こんなにも大量に不要なプラスチックを作りだしたことにショックを受けるだろう」と。英国のメイ首相は1月、ロンドンでこう演説し、2042年までにレジ袋やストローなど不要な使い捨てプラスチックをなくすの方針を示した。英国の環境保護団体によれば、国内ではコカ・コーラやネスレなど40を超える企業が保護団体と協定を結ぶ、25年までに不必要な使い捨てプラスチックをやめることを誓った。



米・ハワイ州の離島の海岸に打ち上げられたプラスチックごみ(米海洋大気局提供)

「脱プラごみ」世界で加速 海洋汚染に危機感



ごみの収集場所に運び込まれた大量のペットボトル
=2017年4月、東京都港区

ものにするのが義務づけられる。欧州連合(EU) 欧州委員会は、使い捨てプラスチック容器を禁止し、食品や飲料のプラスチック容器や包装の回収・処理費用を製造者に負担させる新規規制案を加盟国と

染が深刻化しているからだ。米国のサンフランシスコ市は07年にプラスチックのレジ袋の使用を禁止、その後、シアトル市などもこれに続いた。17年にはハワイ州全体でレジ袋が禁止され、生物素材への切り替えが進んだ。

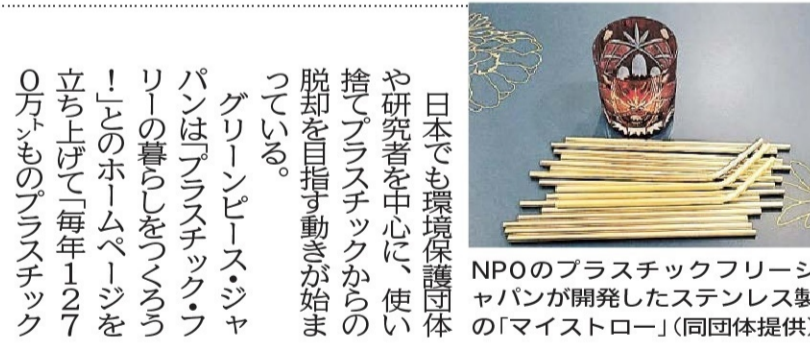
日本政府、動き鈍く

欧州議会に提案した。ペットボトルについては25年までに回収率90%を目指す。アフリカのルワンダは10年以上前からレジ袋の使用を禁止。国際空港で観光客からも「押収」する徹底ぶり知られる。同様の動きはケニア、モロッコなど、他のアフリカ諸国にも広がった。いずれもレジ袋などの使い捨てプラスチックごみによる海や河川の汚

が300億枚以上という「使い捨て」が大だが、政府や企業の動きは遅れている。業界などでつくるPETボトルリサイクル推進協議会によると、04年度に年間148億本だったペットボトルの出荷本数は16年度には227億本と、5倍に増加。リサイクルは進んでいるが16年度の回収率は88・8%と2年続けて減少し、90%を割り込んだ。

最近、先進国、発展途上国を問わず、多くの国や自治体が「脱使い捨てプラスチック」の政策を打ち出し、規制を始めているが、日本の取り組みは遅れている。明確な政策が打ち出されていないために、企業は代替品の開発に不熱心で、消費者には選択の余地がないのが現状だ。

使い捨てプラスチックは可能な限りやめて他の素材に切り替え、食品容器など、どうしてもプラスチックが必要なものは、環境中に残らない生分解性のものにする、といった国としての大方針を政府は早急に示すべきだ。



NP0のプラスチックフリージャパンが開発したステンレス製の「マイストロー」(同団体提供)

金属製のマイストロー開発 国内NPO

が海に流れ込んでいます。その実態を報告。スナップの行動例などを紹介してプラスチックフリーな暮らしを宣言する人を募っている。神奈川県鎌倉市には、レジ袋やプラスチックボトルなどの使い捨てプラスチックの廃絶を呼びかける「プラスチックフリージャパン」というNPOが誕生。各地でのセミナーやパネル展示などを通じて市民に問題の重大さを訴え、金属製のマイストローを開発、プラスチック製ストローからの脱却を呼びかけるなどの活動に取り組んでいる。

砂浜にプラ粒子、注射器



岩陰に集まったプラスチックの粒子
=千葉市の稲毛海浜公園

沖に浮かぶ多数のヨットや対岸の工業地帯を背景に、砂浜を駆け回る子供の音が響く。東京湾に面した稲毛海浜公園、千葉市の一角に目をやる。腰をかかめながらプラスチックごみを集めるグループの姿があった。同市の市民団体「ここから☆ビーチクリーン隊」が主催するビーチクリーンアップ活動の参加者たちだ。

千葉 市民団体が清掃活動



回収されたプラスチックごみ

害な化学物質を吸着して汚染の運び屋となることや海鳥などがえさと間違っただけで死んでしまうなど指摘されている。業界は削減に取り組んでいるとしてい

るが、各地の海岸で多数が見つかると。岡部さんは砂の上に20センチ四方の枠を置き、中にあるペットボトルを数え始めた。活動が進むうち、岩の隙間や防砂シートの陰などに大量のペットボトルがたまっていくことが分かった。

国が大方針を示すべき

プラスチック汚染に詳しい高田秀重・東京農工大学教授の話。プラスチックごみが原因の海洋汚染は深刻で、ごみになった時のことを考えずに、包装容器やレジ袋、ペットボトルなどを安易に使う生活

